

平成27年4月22日  
国土交通省中部地方整備局  
富士砂防事務所

## 【速報】砂防施設で効果を発現！

### 2年ぶりに発生した大沢崩れからの土石流をキャッチ

4月20日(月)の大雨により大沢崩れから発生した土石流は第7  
上流床固工まで流れ出しましたが、富士砂防事務所が大沢  
扇状地に設置した砂防施設(第7上流床固工)にて約1万m<sup>3</sup>(25mプール約  
15杯分)を捕捉し、効果を発揮しました。

4月20日(月)は、南よりの風により、気温が上昇した上、大沢川上流の  
御中道観測所で降り始めから129mmの雨量を観測し、雪代(スラッシュ  
雪崩)が土石流となって流れ下っているのを17時頃に監視カメラで確認し、  
富士砂防事務所では、監視体制を強化していました。

- 場所：大沢扇状地 第7上流床固工、岩樋(富士宮市上井出地先)他  
(別紙-1)
- 砂防施設(第7上流床固工)にたまった土砂量  
：約1万m<sup>3</sup>(25mプール約15杯分) (別紙-2)
- その他：この土石流は、砂防施設により捕捉されたため、今後、下流へ被害を  
もたらず恐れはありません。また、管内の砂防施設にも今回の大雨に  
よる被害は発生しておりません。
- 配布先：富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所  
副 所 長 島崎 誠  
調 査 課 長 黒田 英伸  
TEL 0544-27-5221 (代表)  
FAX 0544-27-5986

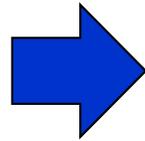


# 砂防施設が土石流をキャッチし効果発現

捕捉前

大沢扇状地（第7上流床固工）

捕捉後



捕捉前

大沢扇状地（岩樋）

捕捉後

